

科目区分	専門分野	授業科目	成人看護学概論
講師名	藤原美由紀、東活年、前田こずえ	開講年次	1 年次前期～後期
単位数(時間)	1 単位 (30 時間)		
授業概要 * 講師からのメッセージ	「人」の人生にとって成人期が一番長い時期になります。学生の皆さんも成人期にある「人」であることを意識し、自分自身をみつめるきっかけにし学習してほしいと思います。成人期にある人の特徴を踏まえた看護が実践できるための知識を持ち、広い視野で人々の健康と、健康を支援するために必要な看護や役割を考えられることを目指したいと思います。		
目的: 成人期にある対象を理解し、看護の役割について学ぶ 目標: 1. 成人期にある特徴が理解できる 2. 成人期にみられる健康障害が理解できる 3. 成人期にある対象の看護に有効な概念が理解できる			
回	授 業 内 容		
1～2	1. 成人期の特徴 1) 成人の定義 2) 成長発達の特徴 (1)成長発達段階における成人期の位置づけ (2)成人各期の成長発達 (3)成人の家族および社会における役割 (4)成人各期の健康問題	3) 成人の生活を理解する視点と方法 (1) 生活スタイルの多様性 (2) 生活と QOL 4) 成人を取り巻く環境 (1)生活様式	
3～4	5)健康観の多様性と看護 (1) 健康観の歴史的変遷 (2) 保健行動の特徴と健康観の関係	(3) 健康観に影響を及ぼす要因 (4) 健康観を理解する方法 (5) ヘルスプロモーション	
5～6	6)学習の特徴と看護 (1) 成人教育学の概念(アンドラゴジー) (2) 成人が学習する意義	(3)健康レベルと学習方法 (4)成人の学習スタイルを理解する方法(エンパワーメントモデル)	
7～10	2. 成人期にみられる健康障害 1)健康に関連した指標(人口動態・健康状態・受療状況) 2)健康日本 21 政策について	3)生活習慣に関連する健康障害と看護 4)生活ストレスに関連する健康障害と看護 5)職業に関連する健康障害と看護	
11	6)セクシュアリティに関連する健康障害と看護 7)更年期にみられる健康障害と看護	8)余暇活動に伴う健康障害と看護	
12～14	3. 成人への看護に有用な概念・理論 1)全人的苦痛(トータルペイン) 2)病みの軌跡 3)セルフケア概念・理論 4)障害受容 5)自己効力理論	6)適応理論、意思決定支援 7)ストレスコーピング理論 8)危機理論 4. 家族ケア	
15	前半: 終了試験(45 分) 後半: まとめ(45 分)		
授業方法	講義、グループワーク (3 校合同)		
評価方法	課題及びレポート 30%(テーマ学習振り返り 10% 課題レポート 20%、)、筆記試験(70%)		
テキスト	医学書院: 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1] 成人看護学総論 (参考テキスト)(財)厚生統計協会 国民衛生の動向		
備考	既習関連科目:看護学概論		